

情 報 公 開 文 書

研究の名称	抗V E G F薬硝子体注射後の非感染性眼内炎の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 眼科 林 篤志 教授
研究の概要	【研究対象者】 2020年3月25日から2024年10月31日までに抗V E G F薬硝子体注射を施行後、無菌性の眼内炎症を発症し富山大学附属病院で加療を受けた者 【研究の目的・意義】 近年、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症といった疾患に対し、抗V E G F薬硝子体注射が著効を示すため、盛んに行われています。抗V E G F薬硝子体注射は眼内の炎症反応、血管新生を抑制することで効果が表れます。その一方で、副作用として無菌性の眼内炎症を引き起こすことがあり、注意が必要です。今回の研究では、抗V E G F薬硝子体注射後に無菌性の眼内炎症が起こった患者を後ろ向きに調査し、その特徴を検討します。 【研究の方法】 富山大学附属病院で2020年3月25日から2024年10月31日までに硝子体注射後の無菌性の眼内炎症と診断され、治療を受けた患者の診療録、画像検査の結果から、投与後から投与後から眼内炎症発現までの日数、主症状、視力、年齢、性別、眼圧、前眼部炎症の有無、後眼部炎症の有無、これまでの治療経過、硝子体注射の回数を確認します。 【研究期間】 承認日から2028年3月31日まで 【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	主要評価項目：投与後から眼内炎症発現までの日数、主症状、視力 副次的評価項目：年齢、性別、眼圧、前眼部炎症の有無、後眼部炎症の有無、これまでの治療経過、硝子体注射の回数 他機関への情報の提供：無
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 眼科 教授 林 篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担当者所属・氏名 大学院総合医薬学研究科 医薬理工学環 大学院生 片山法子 研究対象者等からの相談窓口 電話対応 076-434-7363